

2013年度 一般社団法人西宮青年会議所
新会員育成特別委員会活動報告書

委員長 山下 尚宏

【2013年度事業概要】

1. 新会員育成会議の開催

毎月新会員育成会議を開催することによって、新会員にJCのルールや事業を知ってもらいながら、新会員同士の交流を図ります。

2. 6月度例会の開催

・テーマ：JCで培い更なる高みへ～夢を手繰り寄せるために～

開催日時：平成25年 6月 25日（火曜日）

開催場所：ノボテル甲子園 甲陽西の間

主旨：JCの先輩をお招きし、JC活動の中で経験したことや培ったもの、またそれらを仕事でどのように活用してきたか等の経験談を聞くことによって、JC活動は決して仕事やプライベートを犠牲にするものではなく、夢を持たない者は夢を抱き、夢を持っている者は夢を夢で終わらせることなく、現実に手繰り寄せるために必要な知識・経験・人脈等の獲得に繋がるものであるという会員の意識付けを促します。そしてそれにより、既存会員の新入会員候補者へのJCの魅力についての発信力を高め会員拡大に繋げるとともに、全会員のJC活動への積極的な参加の動機付けをし、青年会議所のさらなる活性化を目指します。

3. 11月度例会の開催

・テーマ：子供たちに残す未来の西宮～未来へのバトンは今我々一人一人の手の中にある～

開催日時：平成25年 11月20日（水曜日）

開催場所：ノボテル甲子園 甲陽西の間

主旨：子供たちに関わる事業を行う青年会議所のメンバーには、「未来の子供が背負う西宮」に対する責任があります。子育てしやすい環境作りとは何か、子供がイキイキと育つ西宮とは何なのかを真剣に考えることによって、我々メンバー一人一人が「未来の西宮をつくる責任者は自分」という自覚を持っていただき、次年度の活動につなげていただく事を目的とします。

そして新会員は、共通の課題を責任感を持って真剣に取り組む中で、共に時間を共有し、お互いを知り、激しく議論を交わしあいながら、団結を強め絆を深くし、一生の友としての友情を育み、次年度以降のJC活動への積極的な関わりへと繋げる事を目的とします。

4. 拡大ツール作成に関する業務

入会申込書や青年会議所の説明資料一式をファイルに挟み込んで新入会員候補者にお渡することによって、各書類が散逸することを予防し、資料を熟読していただく機会を増やします。また会員の名刺を挟み込めるようにするため、少しでも候補者に接触した会員の名前を認識してもらえる確率を増やします。

5. 会員拡大に関わる情報の発信及び共有に関する業務

各委員会の拡大候補者の情報と入会までの進捗状況を整理し、全役員での情報の共有化を図ります。

6. にしのみや市民祭りでのブース出店に関する業務

先輩たちが立ち上げた市民祭りにブース出展することによって、西宮JCの歴史を感じてもらいと同時に、新会員同士の絆を結び、11月例会に向けての団結力を強くします。

また新会員にとっては初めて西宮JCの看板を背負っての一般市民に接する場でもあり、看板を背負うことの責任感を感じてもらいます。

【一年間を振り返って】

新会員が各委員会に所属するという従来とは異なる組織体制だったため、最初は新会員をどのようにまとめていくのか、またどうしたら同期の絆をより深めることができるのかが非常に不安でした。そこで、まずJ Cに参加すれば何かあるという意識を持ってもらおうと思い、6月例会の企画を考え、J Cの先輩お二人をお呼びして、自分自身や事業の成長に繋がるものがJ Cで得られるというお話をいただきました。この例会に刺激を受けた新会員も多く、企画して良かったと感じております。

毎年恒例の11月例会では、子育てをテーマに新会員が寸劇などを織り交ぜて発表をいたしました。準備段階では新会員達も初めての手作り例会ですので、非常に苦勞したと思います。リハーサル等でも中々メンバーが揃わず、新会員以上に我々スタッフも焦りましたが、本番当日は多くの新会員がリハーサル以上の力を発揮し、成功裏に終えることが出来たと思っております。

新会員も11月例会を通じて、同期の絆だけでなく色々なものを得ることが出来たと思います。是非その得たものを次年度以降に活かしていただきと思います。

1年間ありがとうございました。

活動報告

委員会	<u>15</u>	回開催
スタッフ会議	<u>11</u>	回開催